

# 第1回 地域まちづくりワークショップ

(加西市都市計画マスタープランの見直し)



# 目次

## 全体説明

1. まちづくりワークショップについて
2. 都市計画マスタープランについて
3. 未来のまちづくりワークショップについて
4. 本日の進め方



各班でワークショップ作業

# 1. まちづくりワークショップについて

# 1. まちづくりワークショップについて

## 目的

---

- ・ 現在、加西市では、まちづくりの目標や取組の方針を示した「**都市計画マスタープラン**」の見直しを行っています。
- ・ なお、都市計画マスタープランとは“**市町村の都市計画（まちづくり）に関する基本的な方針**”のことです。
- ・ このワークショップは、本計画の目標年次である**10年後やその先を展望**しながら、現在のまちの課題を解決したあるべきまちの姿について、地域の実情をよく知るみなさまにお伺いし、**今後のまちづくりに役立てる**ために開催するものです。

# 1. まちづくりワークショップについて

## 開催予定

- ・ワークショップは、**2回**の開催を予定しています。
- ・1回目：**地域の特性・課題を踏まえた必要な取組の提案**
- ・2回目：**地域キャッチフレーズの提案、1回目に提案した取組を地図に示す「提案マップ」の作成**

**「地域の良いところ、改善すべきところ」**

**「地域をより良くするために／課題を解決するために必要なこと」**

第1回

8月

- ・地域の「良いところ、改善すべきところ」を話し合います。
- ・それを踏まえて、「地域をより良くするために必要なこと」、「課題を解決するために必要なこと」を話し合います。

(予定)

**「こんなまちづくりがいいな！～キャッチフレーズ、提案マップ～」**

第2回

9月

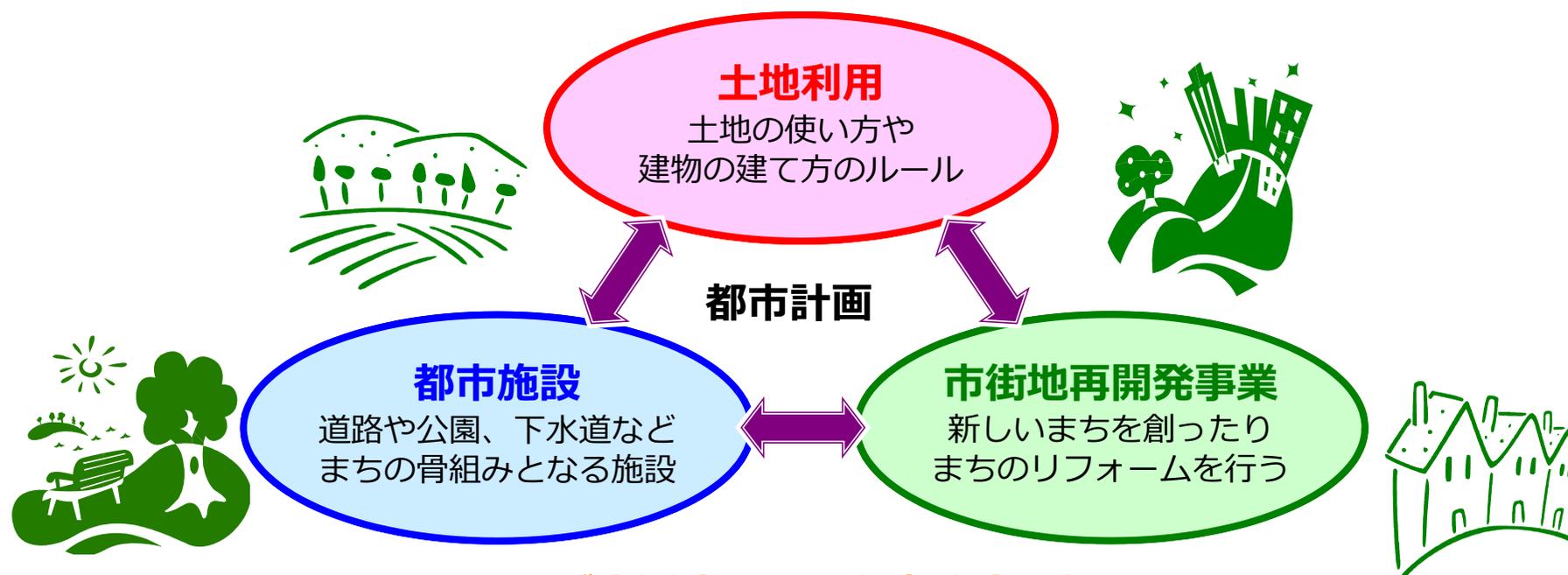
- ・第1回WSの結果を踏まえ、今後の地域のまちづくりの方向性を示すキャッチフレーズを提案します。
- ・「地域をより良くするために必要なこと」、「課題を解決するために必要なこと」を地図に落とし込み、「提案マップ」を作成します。

## 2. 都市計画マスタープランについて

## 2. 都市計画マスタープランについて

### 都市計画とは

- 都市計画は、大きく**土地利用**、**都市施設**、**市街地開発事業**の3つに分類することができ、人々の生活・生産活動を支える**基盤**となるものです。

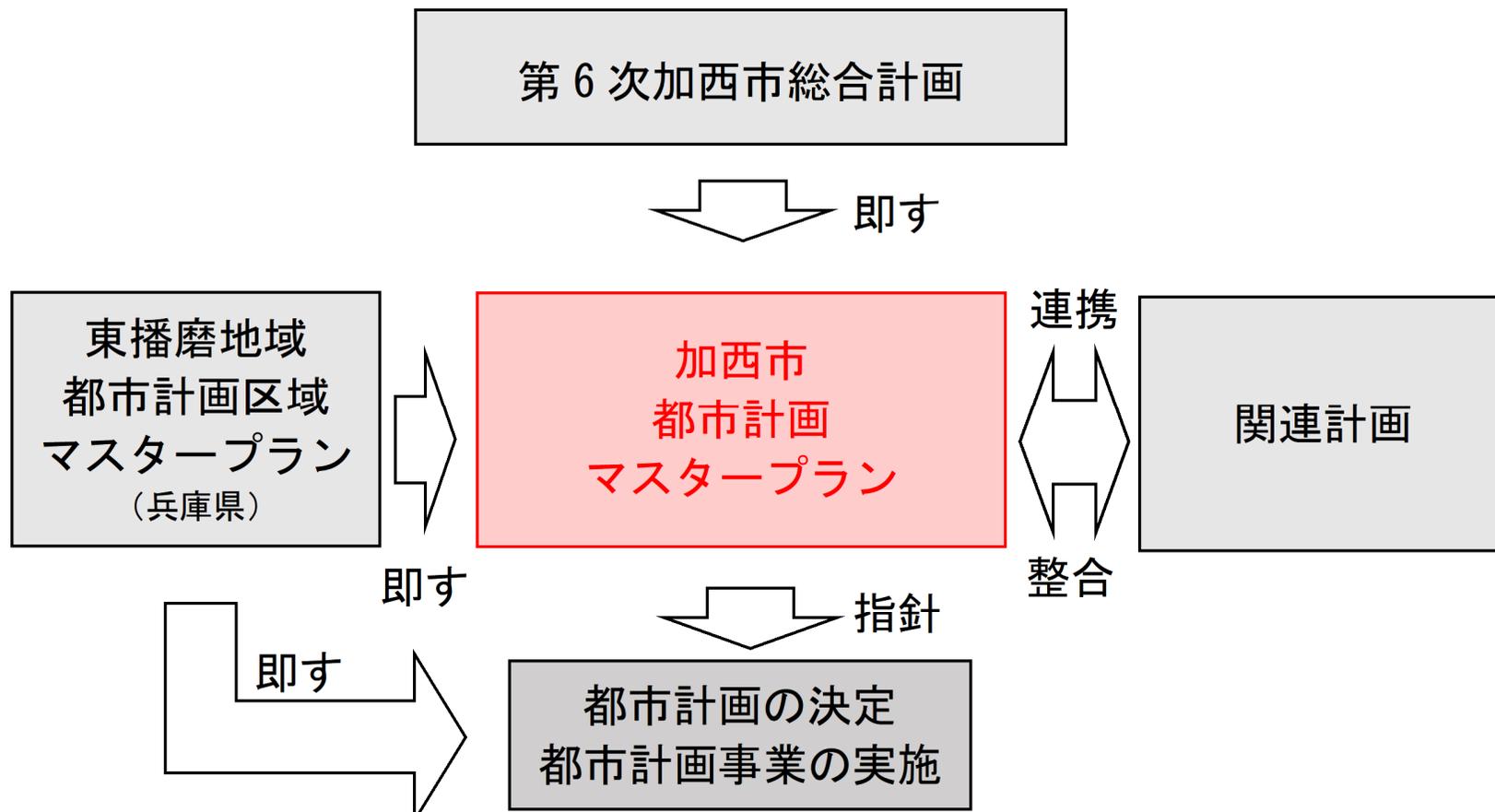


みなさんが生活するまちを良くするために、  
「都市計画」が大きな役割を担っています

## 2. 都市計画マスタープランについて

### 都市計画マスタープランとは

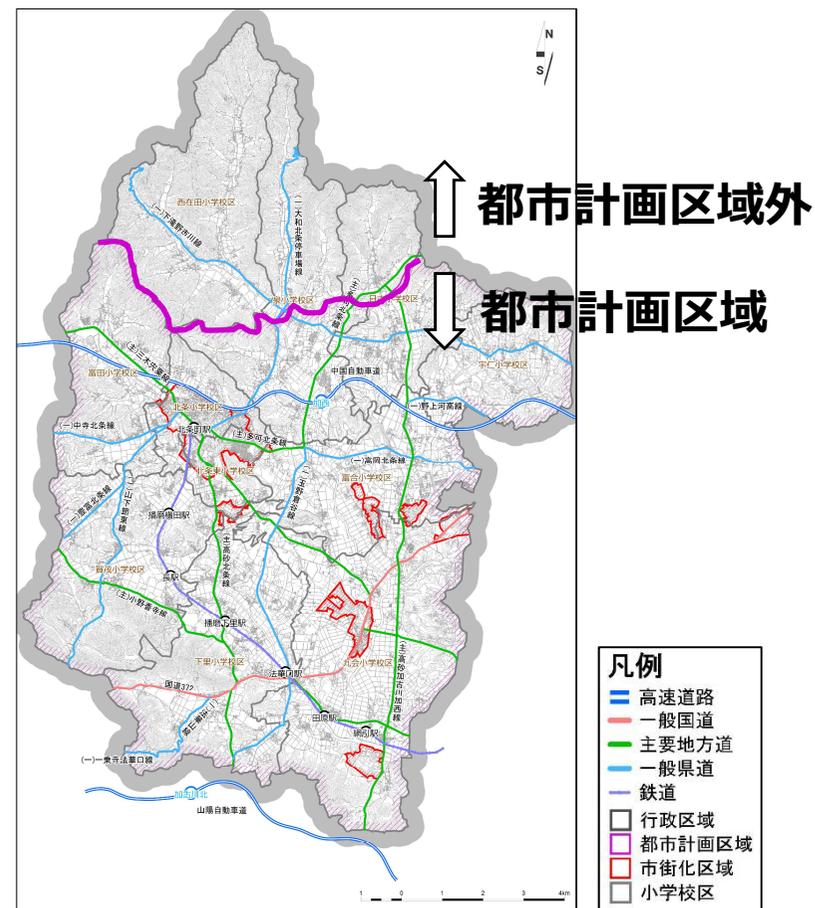
- これからの加西市の都市計画行政をはじめとした**まちづくりの指針**となる計画です。



## 2. 都市計画マスタープランについて

### ■ 計画対象範囲

- ・ 都市計画マスタープランの対象区域は、都市計画区域が基本となります。
- ・ 本市は、市域全体が都市計画区域となっておりませんが、一体的なまちづくりを推進するため、都市計画区域外も含めた全域を対象範囲とします。



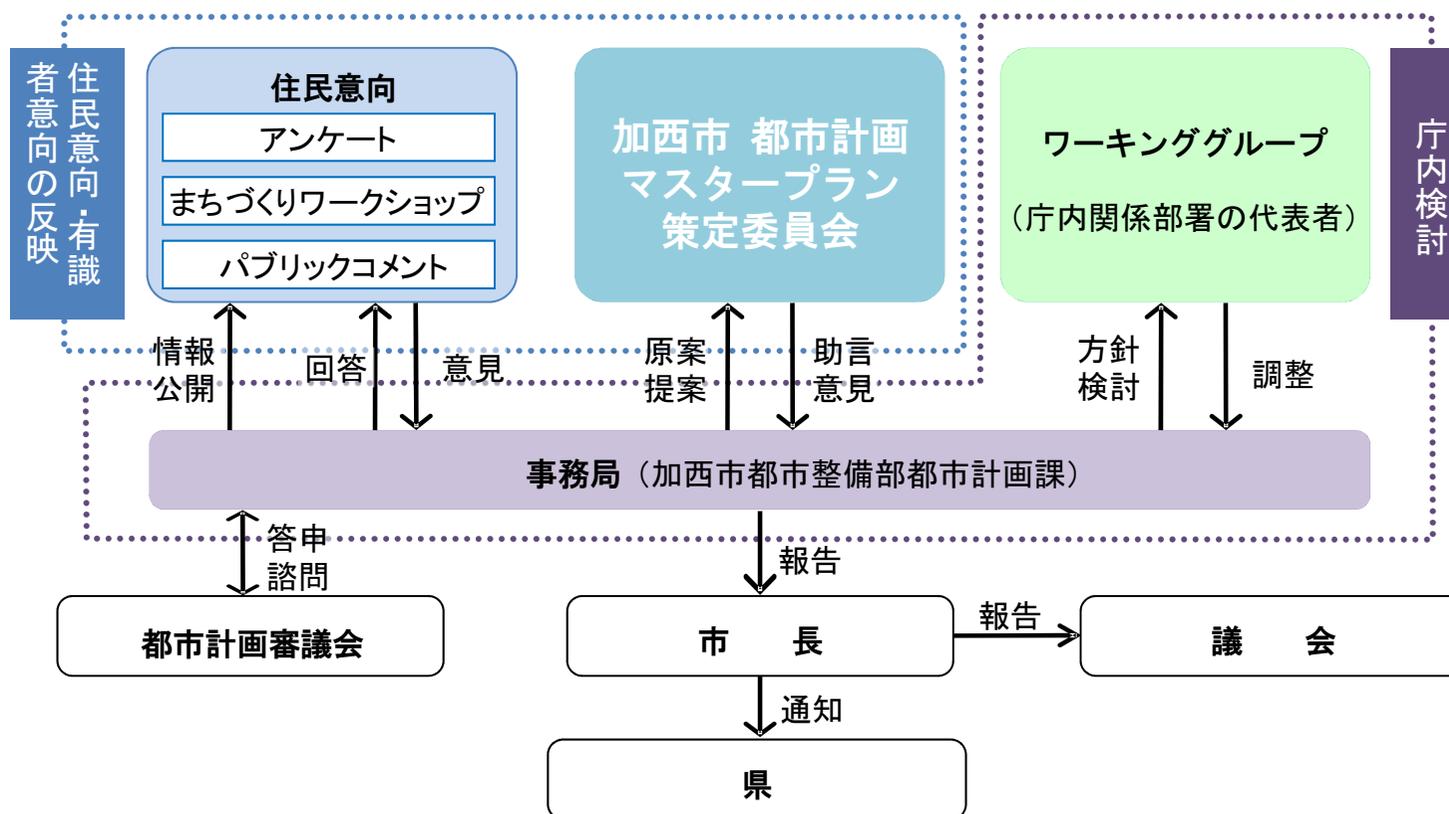
### ■ 目標年次

- ・ 概ね20年後を見据えたまちづくりの基本方針を定めるとされているため、令和5年から20年後を見据えた10年後の令和14年までの10年間とします。

## 2. 都市計画マスタープランについて

### 策定体制

- 策定委員会を中心に、本日のまちづくりワークショップ等により、市民の皆様のご意見を聞きながら策定を進めています。



## 2. 都市計画マスタープランについて

### スケジュール

- ・ 令和3年12月 **第1回策定委員会**
  - ・ 令和4年2月 **第2回策定委員会**（住マスのみ）
  - ・ 令和4年2月 **第3回策定委員会**
  - ・ 令和4年5月 **未来ワークショップ**
  - ・ 令和4年8月 **第4回策定委員会**
  - ・ 令和4年8月末 **地域ワークショップ**（第1回）
  - ・ 令和4年9月下旬 **地域ワークショップ**（第2回）
  - ・ 令和4年10月頃 **第5回策定委員会**
  - ・ 令和4年12月頃 **第6回策定委員会**
  - ・ 令和5年1月頃 **第7回策定委員会**
- （令和5年4月頃 マスタープランの見直し完了予定）

## 2. 都市計画マスタープランについて

### まちづくりの主要課題

#### ● 加西市の特性に見合う都市構造の構築

- ・本市は、市街化調整区域に総人口の約2/3が居住しているが、効率的な都市経営の観点から立地適正化計画が標榜する「コンパクトネットワーク」の考え方は重要です。そのため、本市の状況を踏まえた、**加西市版コンパクトネットワークの構築**を模索する必要があります。
- ・本市は南北方向の幹線道路軸が脆弱で、また市内幹線も幅員が狭く大型車両が流入し円滑な交通体系とはなっていません。そのため、**本市に見合った道路体系の見直し**が必要です。
- ・将来の都市のあり方を踏まえ新型モビリティ導入の検討等により公共交通の利用促進を検討する必要があります。
- ・まちなかを歩行者が歩きたくなるよう、安全で快適な道路空間の形成が必要です。

## 2. 都市計画マスタープランについて

### まちづくりの主要課題

#### ●地域活性化に資する都市づくり

- ・市外からの流入による人口超過には限界であることから、**若者や女性の支持を得て加西市が選択されるまちづくり**が必要です。
- ・転入促進にむけ短期滞在やお試し居住などを二地域居住につなげるなどの取組を推進する必要があります。
- ・市街化区域が狭小であるため、人口増の受け皿として市街化調整区域も担う必要があります。そのため**特別指定区域制度の内容見直し**により新規居住者や外国人技能実習生等が居住できるようにする必要があります。
- ・歴史遺産群や地域活性化拠点施設の**「soraかさい」や整備検討中の「道の駅」をはじめ本市の特色を活かした観光振興**により地域を活性化する必要があります。
- ・工業用地不足を解消するため、**新産業団地だけでなく特別指定区域制度・地区計画制度を活用した民間主導の産業用地創出により企業誘致**し、定住促進と地元集落の活性化に努める必要があります。

## 2. 都市計画マスタープランについて

### まちづくりの主要課題

#### ● 脱炭素、循環型社会の実現と最先端のまちづくり

- ・「エネルギーの地産地消が実現された脱炭素のまち加西」を達成すべく、エネルギーの地産地消、**市民事業者の省エネ行動の拡大等の機運を高めるまちづくり**を推進する必要があります。
- ・本市が豊富に有する山や農地等が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある都市づくりを進める**グリーンインフラ**の取組みを推進する必要があります。
- ・IoTで全ての人とモノがつながり、人工知能（AI）の活用により必要な情報が必要な時に提供され、ロボットや自動運転技術などで都市課題が解決され、市民の暮らし向きが向上する**スマートシティ**の検討をする必要があります。

## 2. 都市計画マスタープランについて

### まちづくりの主要課題

#### ● 効率的な行財政運営と住民・行政の協働の推進

- ・ 人口が大幅に増加する見込みがなく今後大きな財政収入が見込めない中で、長期未着手の都市施設の見直しや公共施設の適切な維持管理等による長寿命化を図るなど、**有効かつ効率的に行財政を運営**していく必要があります。
- ・ 広範に及ぶまちづくり施策を行政だけで実現することは難しいため、道路や公園などの公共施設の維持管理など**市民と行政が協働で取り組む**ことが重要です。

#### ● 大規模災害に対する備え

- ・ 災害リスクの低い場所への居住誘導など**災害リスクを踏まえた土地利用のあり方を検討**するとともに、**避難施設の更なる充実や避難路の確保、住宅密集地などの解消やオープンスペースの設置**といった都市基盤の整備のほか、**自主防災組織が有事に機能できる体制となっている**ことなど、住民の命と生活を守るための対策が急務となっています。
- ・ 近隣市町と比べ有史以来大きな自然災害被害を受けたことがない**本市は「災害に強いまち」との評価**を受けており、その利点を更に強化し、**沿岸部からのヒト、企業の移住・移転受け入れを進めること**を人口増・産業振興につなげていく取組も重要となっています。

## 2. 都市計画マスタープランについて

### まちづくりの基本目標

#### 未来に輝くまちづくり

- 未来の子ども達へ美しいまち・美しい地球を遺すべく、**エネルギーの地産地消が実現された脱炭素のまちづくり**の推進
- 未来を見据えIoTと融合させたまちづくり**を推進し、緑あふれ人や自然に優しく若い世代に選ばれる、未来に輝くまちづくりに取組みます。

#### 便利で暮らしやすいまちづくり

- 各地域の拠点性を向上させることによる均衡ある発展とともに、市内の容易な移動を可能にする交通体系を構築**した「加西市版コンパクトプラスネットワーク」を目指します。
- 移動にあたっては地域間、集落間の移動を容易にする**自動運転技術やデマンドバス・タクシーの導入について検討**します。
- 若い世代や市外からの受入れ先となるよう、**都市イメージを刷新する市街地整備**を推進します。
- 誰もが不自由なく快適に暮らすことのできる**インクルーシブなまちづくり**を推進します。

## 2. 都市計画マスタープランについて

### まちづくりの基本目標

#### 活気あるまちづくり

- 集落内で職住が近接による人口増と経済効果により各集落が持続的に発展できるように、**競争力のある産業を支え、メリハリがあり活気あるまちづくり**を推進します。

#### 安全安心なまちづくり

- 災害リスクを低減し安全なまちとするため、**減災の取組**を進めます。
- 災害リスクの低減が困難な場所へは居住を誘導しない**こととします。
- IoTを活用した防災・防犯まちづくりについても検討**します。

## 2. 都市計画マスタープランについて

### まちづくりの基本目標

#### マネジメントされたまちづくり

- 公共施設や遊休地等の既存ストックを活用し、民間企業等の人材やノウハウ、資金を活用するなど、**人・モノ・金・土地・ハコモノ**など資源を総動員し、**効率的なまちづくりを推進**します。
- 住民が率先してまちづくりに取り組めるよう、積極的な参加機会を創出します。
- これらの**行政、企業、住民の協働による、新しい時代のまちのマネジメント**を目指します。

#### 地域主体のまちづくり

- 今後さらに多様化・複雑化する地域課題に対応するため、多くの地域住民の皆さんが話し合い「地域で決めて、地域で実行する」仕組みとしてふるさと創造会議が設置されています。ここで**多様な地域住民の参画のものと、各種団体との協働により地域の課題や特色に応じた様々な活動を引き続き推進**します。

### 3. 未来のまちづくりワークショップについて (令和4年5月開催)

# 3. 未来のまちづくりワークショップについて

## 開催概要

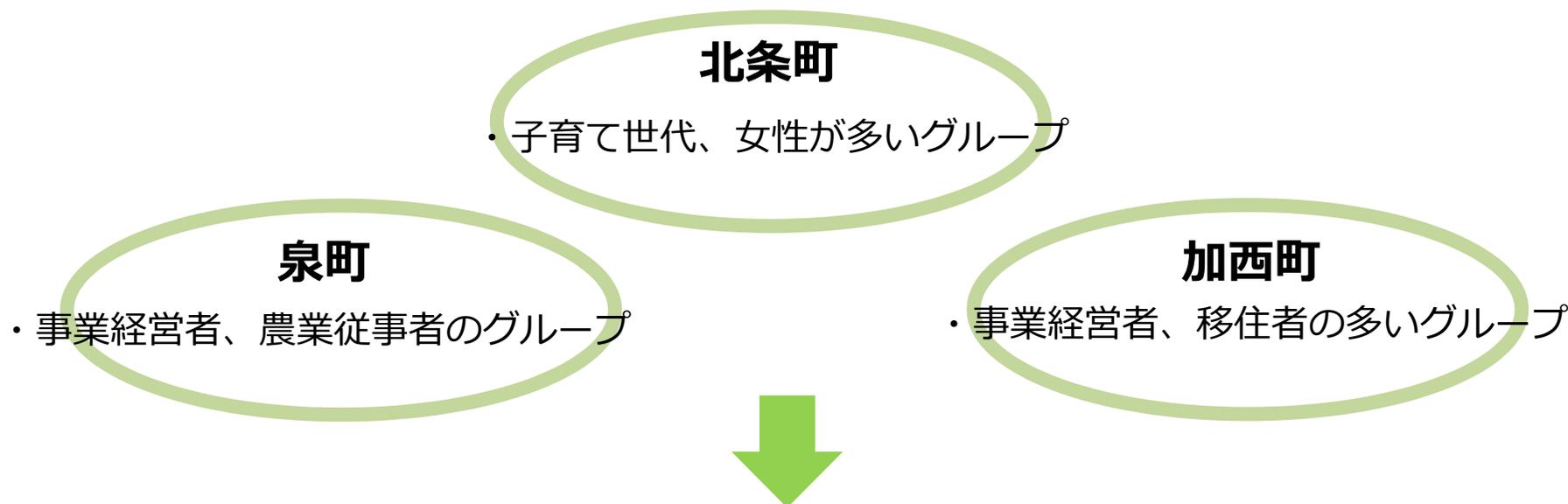
---

- ・近年のコロナウイルス感染症の蔓延、情報通信技術の進展等、さらに地球温暖化を背景とした脱炭素の動きなど、これまでのまちづくりの常識にとらわれない、新しい考え方や行動が必要となっています。
- ・都市計画マスタープランが目指す**10年後だけでなく、その先も展望しながら、現在のまちの課題解決にむけ地域の実情をよく知る若い世代のみなさまの意見**をおうかがいし、これを取り入れた先進的な計画とするため、令和4年5月に「**未来のまちづくりワークショップ**」を開催しました。

# 3. 未来のまちづくりワークショップについて

## 開催結果

各地域ごとの若い世代の方々 / 3チームに分かれて実施



### 国内外のスマートシティ事例のインプットセミナー

世界各国の様々な都市が抱える未来課題と、それを解決するニューテクノロジーやスマートシティの取り組み事例をセミナー形式で聞いてから、加西市の課題についてワークショップを行った。

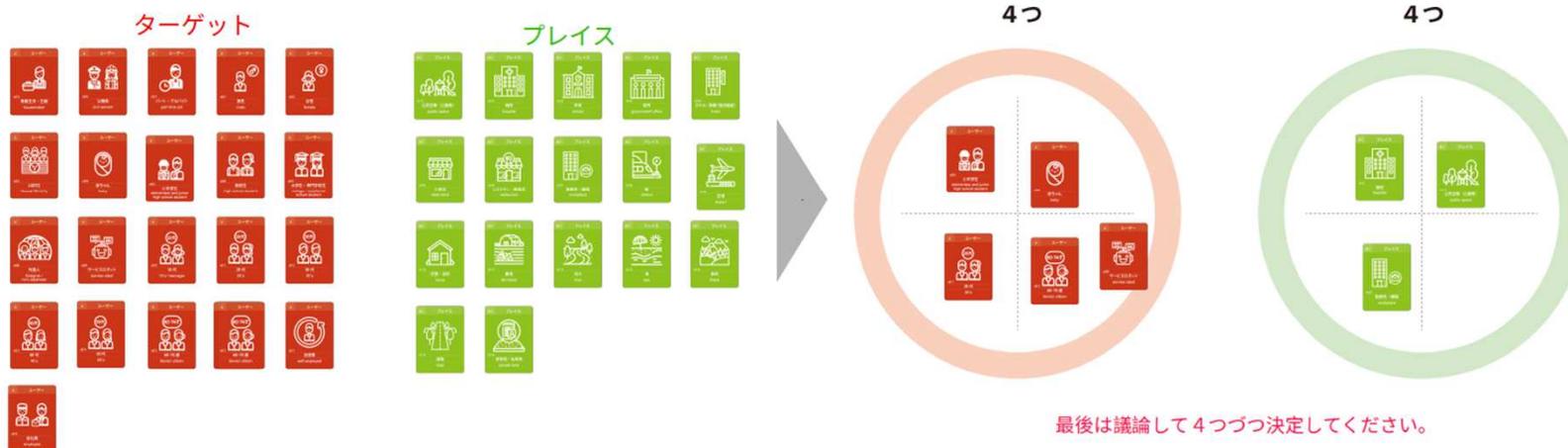
# 3. 未来のまちづくりワークショップについて

## STEP\_1

加西市の中で課題があると直感的に思う「場所と人」を複数ピックアップ

一人ひとつずつ選んでください

カードをコピーし右のマスに移動してください



各員が選んだ理由をチーム内に発表しながら共有。  
議論してこれからの都市課題の取り組むべきプレイスとターゲットを決定した。

# 3. 未来のまちづくりワークショップについて

## STEP\_2

選んだ場所やターゲットがどんな困りごと（課題）を抱えているか？  
 掛け合わせて発想のタネとすることで拡散して幅広く抽出。

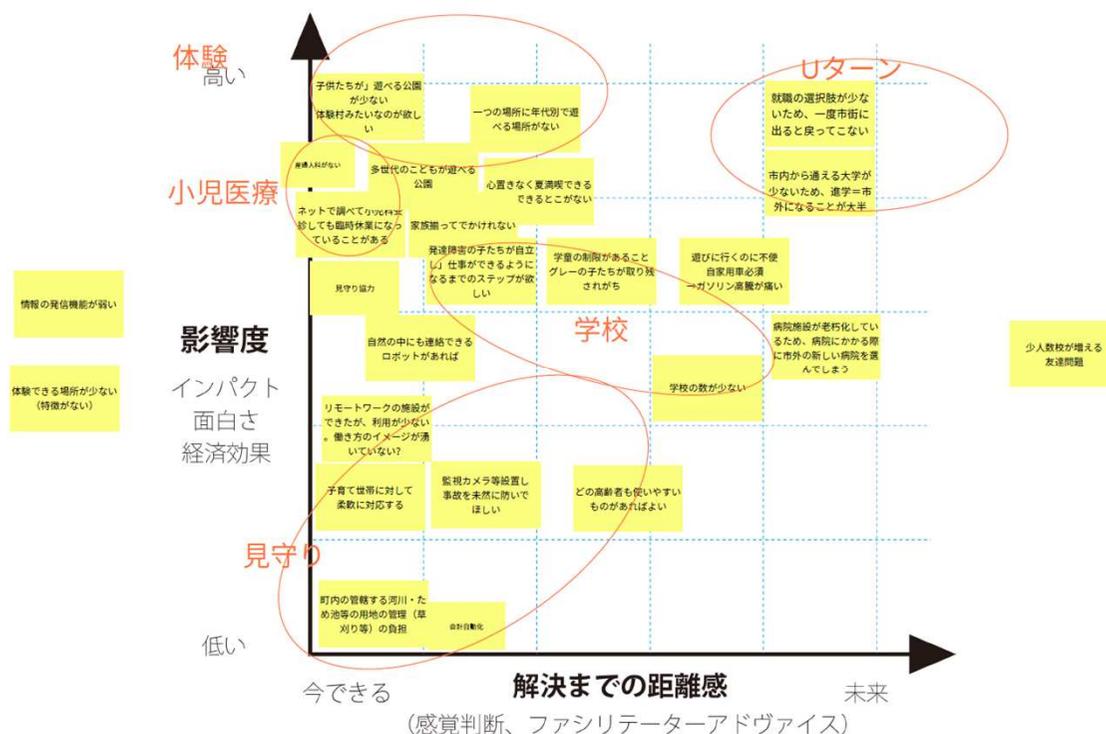
プレイス / ターゲット	プレイス: 公園 (Park)	プレイス: 病院 (Hospital)	プレイス: 公園 (Park)	プレイス: 公園 (Park)
ターゲット: サービスロボット (Service Robot)	自然の中にも連絡できる ロボットがあれば 監視カメラ等設置し 事故を未然に防いで ほしい	会計自動化	困りごとを自分の経験、 想像、ヒアリング、デー タから書き込もう どの高齢者も使いやすい ものがあればよい	リモートワークの継続が できたが、利用が少ない。 働き方のイメージが湧 いていない？
ターゲット: 小学校 (Elementary School)	学校の数が少ない 心置きなく夏休明けできる 水遊びできるところがない	困りごとを自分の経験、 想像、ヒアリング、デー タから書き込もう ネットで調べて小児科受 診しても臨時休業になっ ていることがある	子供たちが「遊べる公園 が少ない 体験してみたいのが欲しい 情報の発信機能が弱い	発達障害の子たちが自立し、 仕事ができるようになる までのステップが欲しい
ターゲット: 赤ちゃん (Baby)	家族揃ってでかけられない BBQができる場所など 若者が集える場所が ほしい	産婦人科がない	体験できる場所が少ない (特徴がない) 多世代の子どもが遊べる 公園	子育て世代に対して 柔軟に対応する
ターゲット: 高齢者 (Elderly)	町内の警備する河川・た め池等の用地の管理 (庫 刈り等) の負担 BBQができる場所など 若者が集える場所が ほしい	病院施設が老朽化してい るため、費用がかかる際 に市外の新しい病院を誘 引しよう	遊びに行くのに不便 自家用車必須 →ガソリン高騰が痛い	就職の選択肢が少ない ため、一度市街に 出ると戻ってこない

選んだ場所とターゲットを無理やりに掛け合わせて発想・連想をしながら議論することで、範囲の広い議論を実施し「見えていなかった課題」を掘り起こした。

# 3. 未来のまちづくりワークショップについて

## STEP\_3

抽出した課題をグルーピング&評価を行い、  
どの課題から取り組んでいくべきか？議論を重ねた。



抽出した課題を整理・評価することで俯瞰的に街の課題を見渡し  
取り組むべき課題の優先度を決定した。

# 3. 未来のまちづくりワークショップについて

## ワークショップを通じての結論

### 北条町

- ・子育て世代、女性が多いグループ

#### ■街の特徴・魅力付けが必要

テーマの可能性として：  
子育てのしやすさ、機能充実

必要なツール：

コンテンツ作り・情報発信プラットフォーム

## 各地域に共通の課題として

### 泉町

- ・事業経営者、農業従事者のグループ

#### ■新しい農業・商業が必要

(既存事業を現代のライフスタイルに沿ってアップデート)

#### ■それら新事業を支える交通の充実

### 加西町

- ・事業経営者、移住者の多いグループ

#### ■新しいコミュニティーが必要

・開かれた、入りやすい交流の場

・テクノロジーで実現

(VRプラットフォーム、ローカルソーシャルメディア)

#### ■コミュニティを活かした新事業 (空き家・農業)

若手世代のニーズとして「新しいことを実現するために既存世代との価値観・認識の違いを意識したうえでの議論を行いたい」というものが上がった。

# 3. 未来のまちづくりワークショップについて

## ワークショップを通じての結論

### 北条町

- ・子育て世代、女性が多いグループ

#### ■街の特徴・魅力付けが必要

テーマの可能性として：  
子育てのしやすさ、機能充実

必要なツール：

コンテンツ作り・情報発信プラットフォーム

■実現に向けた共通課題として

## 既存コミュニティと新規コミュニティの相互理解が必要

- ・加西市の「らしさ」を活かすには既存の資源を活用することが必須
- ・そのためには世代間による価値観の違いを認識したうえでの議論を行いたい

### 泉町

- ・事業経営者、農業従事者のグループ

#### ■新しい農業・商業が必要

(既存事業を現代のライフスタイルに沿ってアップデート)

#### ■それら新事業を支える交通の充実

### 加西町

- ・事業経営者、移住者の多いグループ

#### ■新しいコミュニティが必要

・開かれた、入りやすい交流の場

・テクノロジーで実現

(VRプラットフォーム、ローカルソーシャルメディア)

#### ■コミュニティを活かした新事業 (空き家・農業)

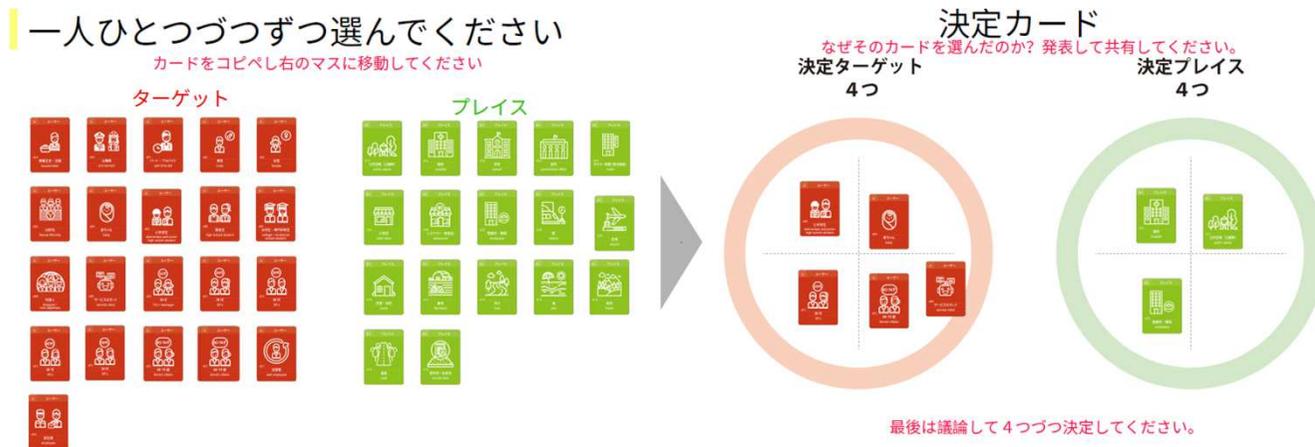
若手世代のニーズとして「新しいことを実現するために既存世代との価値観・認識の違いを意識したうえでの議論を行いたい」というものが上がった。

# 3. 未来のまちづくりワークショップについて

## ■若手世代のニーズ

新しいことを実現するために  
既存世代との価値観・認識の違いを意識したうえでの議論を行いたい。

世代間の「違い」をお互いに認識するためのキッカケとして  
以下のターゲット・プレイスのピックアップを各世代ごとに実施し、  
世代間で共有してから議論をスタートしてみる。



気になることがまったく違うならそれは違いとして理解に努め、  
気になることが共通なら何が違うのか？（理由？やり方？）を議論してみる。

## 4. 本日の進め方

# 4. 本日の進め方

## 大まかな流れ

- ・ 資料説明の後に、付箋への記入とグループの中で話し合いをしていただきます。
- ・ その後、グループ内の意見を取りまとめ、グループの代表の方に発表していただきます。



# 4. 本日の進め方

## 具体的な作業について

### 自己紹介

5分程度

#### ■自己紹介

- ・お名前・所属、一言など、自己紹介（1人1分以内）



### 地域カルテの説明

5分程度

#### ■地域カルテの説明

- ・ファシリテーターより、地域の人口動向やアンケート結果等を整理した「地域カルテ」の説明を行います。

### ターゲットと プレイスの ピックアップ

25分程度

#### ■ターゲットとプレイスのピックアップ

- ・地域の中で課題があると直感的に思う「場所と人」を複数ピックアップします。

### 付箋への 記入(1)

10分程度

#### ■地域の良いところ・改善すべきところ

- ・地域の良いところを青色の付箋に、改善すべきところを赤色の付箋に記入してください
- ※1枚の付箋には、一つの事を記載してください！
- ※場所や内容、理由などを簡潔に記載してください！

#### 【青色の付箋】

- ・良いところ
- ・活かすべきところ 等

#### 【赤色の付箋】

- ・改善すべきところ
- ・悪いところ 等

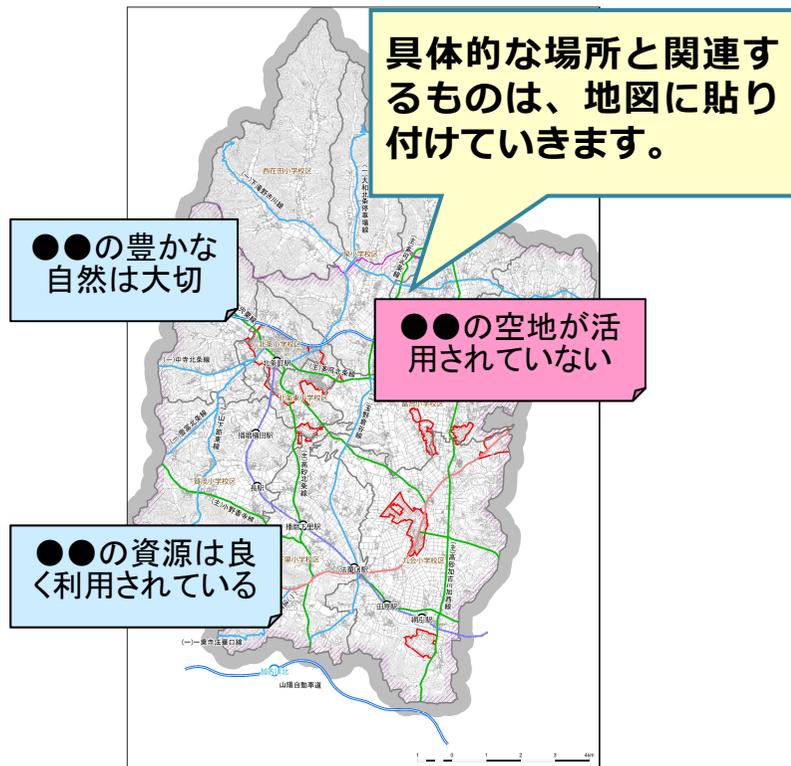
# 4. 本日の進め方

## グループ 討議(1)

20分程度

### ■ 各自の発表

- ・ 記入した付箋の内容を、グループ内で発表してください。
- ・ 付箋は、地図（またはワークシート）の適当な場所に貼り付けてください。  
(ファシリテーターがお手伝いさせていただきます。)
- ・ 発表中に追加意見があれば、どんどん発言してください。
- ・ 各世代の課題が適正化されるようにご配慮ください。



※都市計画で定めるべきとされている分野です。

カテゴリー	地域の良いところ	地域の良いところをもっと良くするために～	地域の改善したいところ	地域の課題を改善するために～
土地利用 市街地整備		●●の資源は良く利用されている		
道路・交通			●●の混雑は解消して欲しい	
公園・緑地				●●の空き地が活用されていない
自然環境 景観	●●の豊かな自然は大切			
防災				
その他				

# 4. 本日の進め方

## 付箋への 記入(2)

10分程度

### ■ 地域をより良くするために／課題を解決するために

- ・ 先に出た意見をふまえ「より良くするために／課題を解決するために」何をすべきかお聞きしますので、**緑色の付箋**に記入してください。

具体的に必要と思う施策や、「こんなことができれば良いな」と思う取組など、色々な意見をお聞かせください。

【緑色の付箋】  
より良くするために～  
課題を解決するために～

## グループ 討議(2)

20分程度

### ■ 各自の発表

- ・ 記入した付箋の内容を、グループ内で発表してください。
- ・ 付箋は、地図・ワークシートに貼り付けてください。  
(ファシリテーターがお手伝いさせていただきます。)

## 全体発表と フィードバック

30分程度

### ■ 全体発表

- ・ グループ内で話し合った結果を、グループの代表者の方に発表していただきます。(各班5分以内)



# 4. 本日の進め方

## ワークショップを進めるためのマナー（お願い）

話を最後まで聞く

この場で出た意見の  
秘密を守る

意見の  
批判をしない

意見を  
どんどん出す

おもしろい意見に  
便乗する



# 4. 本日の進め方

## タイムテーブル

経過時間	所用時間	
5分	5分	・開会あいさつ
20分	15分	・全体説明
30分	10分	・自己紹介と地域カルテの説明
55分	25分	・ターゲットとプレイスのピックアップ（対象の違いを認識しよう）
65分	10分	・付箋記入1（地域の良いところ・改善すべきところ）
85分	20分	・グループ討議1（地域の良いところ・改善すべきところ）
95分	10分	・付箋記入2（地域をより良くするために／課題を解決するために）
115分	20分	・グループ討議2（地域をより良くするために／課題を解決するために）
140分	25分	・全体発表とフィードバック
145分	5分	・全体統括
150分	5分	・閉会あいさつ